



特別展

—女優として、監督として—
田中絹代



鎌倉市川喜多映画記念館

Actress / Director

Kinuyo Tanaka

2021. 9.17 金 → 12.12 日

特別展観覧料：一般 400(280)円 小・中学生 200(140)円 * ()内は20名以上の団体料金

映画に愛された大女優、 そして監督へ――

14歳で映画デビューした田中絹代(1909-1977)は、サイレント映画の時代に可憐な娘役で人気を博し、トーキーになってからも『マダムと女房』『愛染かつら』など数々のヒット作で松竹のトップ女優となりました。やがて溝口健二と出会い、演技派へと開眼、戦後も小津安二郎、成瀬巳喜男、木下恵介ら名匠たちとの仕事を通して、アイドル的な存在から押しも押されぬ大女優へと、半世紀にわたる女優人生を全うしました。

つねに冒険精神を持ち続けた田中絹代は、占領下の1949年、日米親善芸術使節として3か月にわたり渡米、さらに1950年代には監督デビューを果たし、6本の作品を手がけました。男性社会である映画界にあって、女優としてだけでなく監督としても活躍したその功績は、今の時代にこそ語られるべきでしょう。本展では、鎌倉ともゆかりの深い田中絹代の足跡を貴重な資料の数々とともに紹介します。

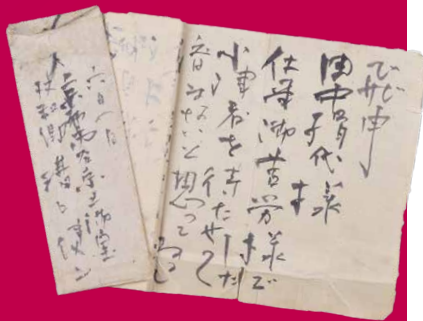


伊東深作画、吉井勇書「西鶴艶女圖」
『西鶴一代女』劇中で使用された。



渡米中の田中からのクリスマスカード
左はベティ・デイヴィス

『週刊朝日』
1957年2月17日号
田中の監督姿をモデルにした絵が表紙を飾った。



溝口健二から送られた手紙(1948年)

展示協力: 熊井啓記念館、芸遊会、国立映画アーカイブ、下関市／田中絹代ぶんか館(下関市文化振興財団)(敬称略、五十音順)

① おかあさん

9.28(火)・30(木)・10.2(土) 10:30
9.29(水)・10.1(金)・3(日) 14:00



戦災で焼け出された一家がクリーニング店を再開し、つつましく再出発を果たすも、相次ぐ離別に見舞われて…。長女の視点から描く抑制された演出が高く評価される作品で、田中は温かくも強く生きる母を演じた。

1952年／新東宝／白黒／98分／35mm
監督:成瀬巳喜男 脚本:水木洋子
共演:香川京子、三島雅夫、加東大介、中北千枝子、岡田英次

⑤ むねかたきょうだい 宗方姉妹

10.26(火)・27(水)・29(金) 10:30
10.27(水)・28(木)・31(日) 14:00



失業中の夫に代わってバーを営み生計を立てる古風な姉と、そんな姉に反発する現代的な妹を通して、変わりゆく家族の姿を描く。鎌倉文士・大佛次郎の新聞小説を小津が映画化、スランプに陥った田中が再起をかけて挑んだ一作。

1950年／新東宝／白黒／112分／35mm
監督:小津安二郎 原作:大佛次郎
共演:高峰秀子、山村聰、上原謙、高杉早苗、笠智衆

② 流れる

9.29(水)・10.1(金)・3(日) 10:30
9.28(火)・30(木)・10.2(土) 14:00



移ろいゆく花柳界を舞台に一軒の芸者置屋の凋落を描いた成瀬の代表作。日本映画の草創期から黄金期までを支えた名女優たちが顔を揃えた。置屋の女中を演じた田中は、抑えた演技で第三者の目線から時代の流れを見つめる。

1956年／東宝／白黒／116分／35mm
監督:成瀬巳喜男 原作:幸田文
共演:山田五十鈴、高峰秀子、岡田茉莉子、杉村春子、栗島すみ子

⑥ かんざし 簪

10.28(木)・31(日) 10:30
10.26(火)・29(金) 14:00



避暑地の温泉宿を舞台に、一本の簪から宿泊客たちのひと夏の交流が始まる。女優・田中を開花させたかつてのパートナー、清水宏ならではの心洗われる抒情性が、複雑な事情を抱えたヒロインの憂いある美しさを捉えている。

1941年／松竹／白黒／75分／35mm
監督:清水宏 原作:井伏鱒二
共演:笠智衆、川崎弘子、斎藤達雄、日守新一、三村秀子

⑨ 恋文 田中絹代監督作

11.23(火・祝)・27(土) 10:30
11.24(水)・28(日) 14:00



復員後、様変わりした社会に戸惑う元軍人は、恋文の代筆業をしながらかつての恋人を想い続けるが…。スター女優の初監督作を映画界全体が応援し、木下が脚色を手がけた。男女の関係性の変化を冷静に捉えた眼差しが光る。

1953年／新東宝／白黒／98分／blu-ray
監督:田中絹代 原作:丹羽文雄 脚色:木下恵介
出演:森雅之、宇野重吉、久我美子、香川京子、夏川静江

⑩ 月は上りぬ 田中絹代監督作

11.25(木)・28(日) 10:30
11.23(火・祝)・26(金) 14:00



戦後もまもなく小津が構想したシナリオに基づく田中の第二回監督作。古都・奈良を舞台に、父親と暮らす三姉妹の恋模様を、心の機微を丁寧にすくい取った演出で描く。デジタル修復版が今年度カンヌ映画祭クラシック部門に選出された。

1955年／日活／白黒／102分／blu-ray
監督:田中絹代 脚本:斎藤良輔、小津安二郎
出演:北原三枝、杉葉子、山根寿子、安井昌二、笠智衆

12.8(水) 優秀映画鑑賞推進事業
～12(日) 「女優と巨匠～田中絹代と溝口健二～」

上映作品:『西鶴一代女』(1952年)、『雨月物語』(1953年)
『山椒大夫』(1954年)、『浪華悲歌』(1936年)

料金:一般500円、小・中学生250円(展示観覧料含む) チケット発売日:11月13日(土)

③ 煙突の見える場所

10.12(火)・14(木)・16(土) 10:30
10.13(水)・15(金)・17(日) 14:00



“お化け煙突”のある下町を舞台に、中年夫婦と下宿中の若い男女、個性豊かな隣人たちの悲喜こもごもを描いた人情劇。16年ぶりにコンビを組んだ五所の戦後の代表作となった本作で、田中は戦争の影響を引きずる妻を演じた。***英語字幕付き上映**

1953年／新東宝＝スタジオ8プロ／白黒／108分／35mm
監督：五所平之助 原作：椎名麟三
共演：上原謙、高峰秀子、芥川比呂志、関千恵子、田中春男

⑦ おとうと

11.9(火)・12(金)・14(日) 10:30
11.10(水)・11(木)・13(土) 14:00



原作者の家族をモデルに、不良の弟と勝負で献身的な姉を描く文芸映画。美しく深みのある空間を表現する“銀残し”の手法が話題になった。足の不自由な継母を演じた田中の無表情な佇まいは圧巻。キネマ旬報ベスト・テン第1位。

1960年／大映／カラー／98分／DCP
監督：市川崑 原作：幸田文
共演：岸恵子、川口浩、森雅之、岸田今日子、浜村純

⑪ 乳房よ永遠なれ 田中絹代監督作

11.24(水)・26(金) 10:30
11.25(木) 14:00
11.27(土) 13:30 **特別上映**



31歳で夭逝した歌人・中城ふみ子の人生を映画化した田中の監督第三作。「女が女を描く」ことにこだわった田中は、脚色に田中澄江、主演に月丘夢路を得て、妻や母の立場を超えてふみ子が女としての自我に目覚めていく姿を表現した。

1955年／日活／白黒／110分／blu-ray
監督：田中絹代
原作：若月彰、中城ふみ子 脚色：田中澄江
出演：月丘夢路、杉葉子、森雅之、川崎弘子、葉山良二

④ サンダカン八番娼館 望郷

10.13(水)・15(金)・17(日) 10:30
10.12(火)・14(木)・16(土) 14:00



戦前の日本で貧しさゆえに売られ、東南アジアで娼婦として働いた「からゆきさん」の半生を描く。渾身の役作りで老婆を演じた田中は、本作でベルリン映画祭銀熊賞(最優秀女優賞)を受賞、晩年の代表作となった。***英語字幕付き上映**

1974年／東宝＝併映座映画放送／カラー／121分／35mm
監督：熊井啓 原作：山崎朋子
共演：栗原小巻、高橋洋子、水の江滝子、梅沢昌代、岩崎加根子

⑧ 楯山節考

11.13(土) 10:30
11.9(火)・12(金)・14(日) 14:00



姥捨て伝説を題材に、発表当時、社会に衝撃を与えた小説の映画化。歌舞伎の様式美を駆使し、独自の世界観を構築した意欲作。木下とのコンビ作の中でも特に評価が高く、キネマ旬報ベスト・テン第1位をはじめ数々の賞を受賞した。

1958年／松竹／カラー／98分／35mm
監督：木下恵介 原作：深沢七郎
共演：高橋貞二、望月優子、宮口精二、伊藤雄之助、東野英治郎

⑫ 映画をつくる女性たち 他2作

12.4(土)・5(日) 14:00 ***すべてblu-ray**



映画をつくる女性たち 2004年／103分／熊谷博子
東京国際女性映画祭製作、日本の女性監督たちの人生と作品への闘いを描く。
日本初の女性映画監督 坂根田鶴子を追って
2004年／22分／熊谷博子
知られざる日本初の女性監督、坂根田鶴子の足跡を辿る。
開拓の花嫁 1943年／22分／坂根田鶴子
満映時代の坂根が撮った、現存する唯一の監督作。

特別上映

10.30(土)
13:30～

『非常線の女』
活弁付き上映＋トークイベント
活動弁士：澤登翠さん



『非常線の女』
1933年／松竹／白黒／35mm／100分
監督：小津安二郎 共演：岡譲二、水久保澄子、三井秀夫(弘次)、逢初夢子

1920～30年代に約100本のサイレント映画に出演し、可憐な役柄を多く演じた田中絹代ですが、本作では昼間はタイピスト、夜はギャングの情婦という異色の役どころで、ピストル片手に襟を立てたコート姿を披露しています。戦前の小津作品の中でも、アメリカ映画の影響や都会的なダンディズムが散りばめられた一作です。

活動弁士を務めるのは、話芸文化としての「活弁」の第一人者として国内外で活躍し、2015年には『文藝春秋』の企画「日本を代表する女性120人」にも選出された澤登翠さんです。トークイベントでは、本作に登場する3人の女優、田中絹代／水久保澄子／逢初夢子を通して、松竹モダニズムの魅力について語っていただきます。

料金：一般1,600円、小・中学生800円

チケット発売日：9月11日(土)

11.27(土)
13:30～

『乳房よ永遠なれ』上映＋トークイベント
「田中絹代の監督術」
ゲスト：斉藤綾子さん(明治学院大学教授／映画研究)

年齢を重ねるごとに女優としての役柄が狭まっていく将来を見据えていた田中絹代は、40歳で渡米した際に監督業への挑戦を思いついたといいます。成瀬巳喜男『あにいもうと』(53)に監督見習いとして参加したのち『恋文』でデビュー、監督としても順調な滑り出しを見せますが、田中自ら題材を選び、女が撮ることの意味を積極的に見出したのは第三作『乳房よ永遠なれ』からでした。トークイベントでは女性映画の観点から田中絹代を研究している斉藤綾子さんに、田中がいかにか作品を構築し女性監督としての視点を組み込んでいったのか、その監督術を解説していただきます。

料金：一般1,600円、小・中学生800円

チケット発売日：10月9日(土)

特別展観覧 一般 400(280)円 小・中学生 200(140)円

*()内は20名以上の団体料金
*市内在住 65歳以上の方、障がい者手帳をお持ちの方と介助者1名、市内在住・在学の小・中学生は無料

映画鑑賞 一般 1,000円 小・中学生 500円(展示観覧料を含む)

特別上映 一般 1,600円 小・中学生 800円(展示観覧料を含む)

9月の上映作品①～② 9月1日(水)
チケット発売 10月の上映作品③～⑥ 9月11日(土)
開始日 11月の上映作品⑦～⑪ 10月9日(土)
12月の上映作品⑫+優秀映画 11月13日(土)

チケット取り扱い 川喜多映画記念館窓口 0467-23-2500
お問い合わせ先

*作品により映像・音声が必要しも良好でないものがあります。
場合によっては上映素材・作品の変更がありますことをご了承ください。

上映スケジュール

9月	関連上映 田中絹代 ―女優として、監督として― チケット発売日:9月1日(水)	28 火	10:30 おかあさん(98分)	14:00 流れる(116分)
		29 水	10:30 流れる(116分)	14:00 おかあさん(98分)
		30 木	10:30 おかあさん(98分)	14:00 流れる(116分)
		1 金	10:30 流れる(116分)	14:00 おかあさん(98分)
		2 土	10:30 おかあさん(98分)	14:00 流れる(116分)
		3 日	10:30 流れる(116分)	14:00 おかあさん(98分)
10月	関連上映 田中絹代 ―女優として、監督として― チケット発売日:9月11日(土)	12 火	10:30 煙突の見える場所(108分)	14:00 サンダカン八番娼館 望郷(121分)
		13 水	10:30 サンダカン八番娼館 望郷(121分)	14:00 煙突の見える場所(108分)
		14 木	10:30 煙突の見える場所(108分)	14:00 サンダカン八番娼館 望郷(121分)
		15 金	10:30 サンダカン八番娼館 望郷(121分)	14:00 煙突の見える場所(108分)
		16 土	10:30 煙突の見える場所(108分)	14:00 サンダカン八番娼館 望郷(121分)
		17 日	10:30 サンダカン八番娼館 望郷(121分)	14:00 煙突の見える場所(108分)
		26 火	10:30 宗方姉妹(112分)	14:00 簪(75分) + 上映解説
		27 水	10:30 宗方姉妹(112分)	14:00 宗方姉妹(112分)
		28 木	10:30 簪(75分)	14:00 宗方姉妹(112分)
		29 金	10:30 宗方姉妹(112分)	14:00 簪(75分)
		30 土		13:30 特別上映 非常線の女(100分) + トークイベント 活動弁士:澤登翠さん
		31 日	10:30 簪(75分)	14:00 宗方姉妹(112分)
11月	関連上映 田中絹代 ―女優として、監督として― チケット発売日:10月9日(土)	9 火	10:30 おとうと(98分)	14:00 楳山節考(98分)
		10 水		14:00 おとうと(98分)
		11 木		14:00 おとうと(98分)
		12 金	10:30 おとうと(98分)	14:00 楳山節考(98分) + 上映解説
		13 土	10:30 楳山節考(98分)	14:00 おとうと(98分)
		14 日	10:30 おとうと(98分)	14:00 楳山節考(98分)
		23 火・祝	10:30 恋文(98分)	14:00 月は上りぬ(102分)
		24 水	10:30 乳房よ永遠なれ(110分)	14:00 恋文(98分)
		25 木	10:30 月は上りぬ(102分)	14:00 乳房よ永遠なれ(110分)
		26 金	10:30 乳房よ永遠なれ(110分)	14:00 月は上りぬ(102分)
		27 土	10:30 恋文(98分)	13:30 特別上映 乳房よ永遠なれ(110分) + トークイベント ゲスト:斉藤綾子さん
		28 日	10:30 月は上りぬ(102分)	14:00 恋文(98分)
12月	関連上映 田中絹代 ―女優として、監督として― チケット発売日:11月13日(土)	12月1日(水) 無料入館日		
		4 土		14:00 映画をつくる女性たち 他2作(計147分)
		5 日		14:00 映画をつくる女性たち 他2作(計147分)
	優秀映画鑑賞推進事業 女優と巨匠 ～田中絹代と溝口健二～ チケット発売日:11月13日(土) 一般:500円、小・中学生:250円	8 水	10:30 西鶴一代女(136分)	14:00 浪華悲歌(72分)
		9 木	10:30 山椒大夫(124分)	14:00 雨月物語(97分)
		10 金	10:30 西鶴一代女(136分)	14:00 山椒大夫(124分)
		11 土	10:30 浪華悲歌(72分)	14:00 山椒大夫(124分)
		12 日	10:30 雨月物語(97分)	14:00 西鶴一代女(136分) + 上映解説

展示解説 上映解説

展示の見どころ／上映作品について、学芸員が映像資料室で解説します。
(要特別展観覧料)

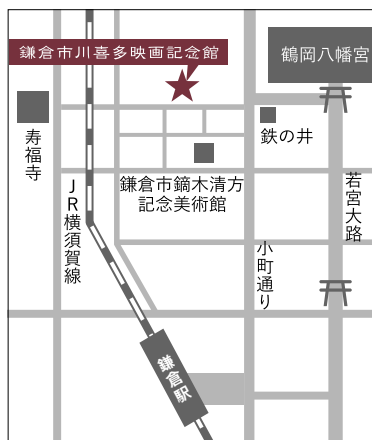
展示解説 2021年9月25日(土)、10月23日(土)、11月20日(土)
各日14:00～(約40分)

上映解説 2021年10月26日(火)、11月12日(金)、12月12日(日)
各日午後の上映終了後(約30分)



旧川喜多邸別邸(旧和辻邸)
 当館敷地内に建つ旧和辻邸をご覧いただけます。
 一般公開:10.2(土)、3(日) ※無料
 特別公開:11.2(火)～7(日) ※要入館料

★いずれの公開も天候、新型コロナウイルス感染防止のため中止となる場合があります。



鎌倉市川喜多映画記念館

〒248-0005 神奈川県鎌倉市雪ノ下2-2-12

☎0467-23-2500

開館時間: 9:00～17:00
(入館は16:30まで)

休館: 月曜日(9月20日は開館)、9月21日

●鎌倉駅より徒歩8分 ●駐車設備がありませんので、公共交通機関をご利用ください。

主催: 川喜多・KBSグループ(鎌倉市川喜多映画記念館指定管理者)
 ※入館時、館内での感染予防対策にご協力ください。
 ※席数、入館時間等は状況により変更する場合がございます。
 詳しくはお問合わせください。

無料入館日
12月1日(水)
※〈映画の日〉につき、展示観覧料が無料になります。



<https://kamakura-kawakita.org>